

研究実施のお知らせ

2026 年 05 月 01 日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院における小児 food protein-induced enterocolitis syndrome に対する食物経口負荷試験実施例の後方視的検討

研究の対象となる方

2017 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの間に、島根大学医学部附属病院で food protein-induced enterocolitis syndrome（FPIES：食物蛋白誘発胃腸炎症候群）が疑われ、診断目的または寛解確認目的で食物経口負荷試験を受けられた 16 歳未満の方を対象とします。

研究の目的・意義

FPIES は、主に乳幼児期にみられる食物アレルギーの一病型です。原因となる食物を食べた後、時間をおいて嘔吐などの症状が出る場合があります。FPIES では、診断や治ったかどうかの確認のために、食物経口負荷試験が行われることがあります。

本研究では、当院で FPIES が疑われて食物経口負荷試験を受けられた方について、試験の時期、方法、結果、その後の食物再開、症状の再燃、寛解確認などを診療録から調べます。これにより、今後の FPIES 診療における食物経口負荷試験の実施方法や再評価時期の検討に役立てることを目的としています。

研究の方法

電子カルテ、紹介状、入院記録、食物経口負荷試験記録などから、以下の情報を確認します。

- 年齢、性別、原因として疑われた食物、これまでの食物摂取状況、アレルギー疾患や既往歴などの患者背景
- 原因食物を食べてから症状が出るまでの時間、嘔吐、顔色不良、ぐったりした様子、下痢、救急受診や点滴治療の有無など、FPIES に関連する症状や診療経過
- 診断時または食物経口負荷試験の前後に実施された血液検査の結果
- 食物経口負荷試験の実施日、目的、負荷した食物、負荷量、投与方法、観察時間、試験中の症状、治療の有無、判定、試験後の方針
- 食物経口負荷試験後の自宅での再摂取の状況、症状の再燃、追加の食物経口負荷試験、寛解確認の有無、最終的な経過

生年月日は、年齢や月齢を計算するためにのみ使用します。研究用データには氏名

や患者 ID など個人を直接識別できる情報を含めず、生年月日も個人が特定される形で表示・公表することはありません。

研究の期間

2026 年 07 月 06 日～2031 年 3 月 31 日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部小児科 舩金聖也

実施研究機関：

島根大学医学部小児科学教室

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部小児科 舩金聖也

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2220 FAX 0853-20-2215